



「彩の国教育の日」に誓う

～ 学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ 朝日東小の子 ～



校長 齊藤 敦史

朝夕の冷え込みが身に染みるとともに、色鮮やかな木々の紅葉、そして落葉が秋の深まりを感じさせる季節となりました。先月末の朝東っ子音楽会では、多くの皆様にご来校いただきまして、誠にありがとうございました。おかげさまで、朝東っ子は皆、これまでの練習の成果を存分に発揮し、どの子にとっても大満足・大成功の、素晴らしい音楽会となることができました。

さて、埼玉県では、毎年11月1日を『彩の国教育の日』、1日から始まる一週間を『彩の国教育週間』と定めて、教育に対する理解と関心を深める機会と設定しております。期間中は、学校・家庭・地域連携の下、教育に関する様々な取組を推進することになっております。本校では、それを先取って、学校公開Ⅱ&朝東っ子音楽会を開催いたしました。

ところで下記は、県教委が発行した「彩の国教育の日」に関するリーフレットの裏面です。ここでは、20代以上の成人を対象に調査し、ご本人の幼少期の体験がもたらす成果を検証した結果が掲載されております。それによれば・・・

- 1 子供の頃に友達との遊びや自然体験が多かった大人ほど、資質や能力が高い傾向にある。
- 2 子供の頃にお手伝いをよくしていた大人ほど、友達を思いやる気持ちが高い傾向にある。
- 3 子供の頃の読書活動が多かった大人ほど、未来志向や社会性等の意識・能力が高い傾向にある。
- 4 先生や友達、地域の方など周囲から褒められた経験が多かった人、加えて、叱られた経験が多かった人ほど「社会を生き抜く資質・能力」が高い傾向にある、とのことでした。

(昨年度発行した学校だよりでもお伝えしましたが、) これらの効果を考えれば、小学生時代に、幅広く、より多くの経験や体験を積み重ねることが、より良い成長には欠かせない要素であり、同時に、私たち大人(学校・家庭・地域)に課せられた重要な「使命」であることも分かります。音楽会のように、今後も、様々な体験機会を創出する等、教育活動の充実を目指し、ご家庭や地域の皆様とも連携しながら、良質な教育環境を整えることをお約束いたします。

さて、2学期も折り返しを迎え、残すところあと30日あまりとなりました。様々な学校行事等を

乗り越え、2ヶ月で大きく成長した朝東っ子。残された日々を大切に、今後も子どもたちの「学び」を、職員一同、全力で応援してまいります。ご家庭や地域の皆様におかれましても、「学校で学び 家庭でしつけ 地域ではぐくむ 朝東っ子」の思いをこれまで以上に共有していただき、引き続き本校教育活動へのご理解・ご支援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

彩の国教育の日

子供の頃の様々な経験が、将来の自分を創っていきます。下のグラフは、20代以上の方々を対象に調査を行い、子供の頃の体験がもたらす成果を検証したものです。お子さんと話題してみてください。

自然

私の子供の頃の体験、我が子にもやらせたい!

人間関係能力(大人) ※1

高い	低い
48%	36%
34%	40%
23%	40%
26%	37%

子供頃に友達との遊びや自然体験が多かった大人ほど、資質や能力が高い傾向にあります。

人

友達との楽しかった遊びは?

自尊感情(大人) ※2

高い	低い
33%	48%
24%	50%
16%	48%
38%	38%

子供頃の読書活動が多い大人ほど、未来志向や社会性などの意識・能力が高い傾向にあります。

地域

地域の人との思い出って何があるのかな?

へたれぬ力(親戚) ※3

高い	低い
27%	54%
29%	53%
13%	53%
11%	44%

先生や友達、近所の人など周りの人から褒められる経験が多かった人、また、その経験に加え、叱られた経験が多かった人ほど、「社会を生き抜く資質・能力」の高い人が多くなる傾向があります。

